

ひの市民活動団体連絡会ニュース16号

平成 21 (2009) 年 11 月 15 日
発行：ひの市民活動団体連絡会
会長 梁瀬 悦司
編集：広報部会
〒191-0012 東京都日野市日野 1369-27
Tel / FAX. 042-581-6144
E-mail: hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp
URL: //hinokaturen.sakura.ne.jp/index.htm.

「金曜サロン」報告

日野市立病院をどうする？

9月18日、20回目を迎えた金曜サロンは、「日野市立病院をどうする？」と銘打って日野市立病院経営専門監である河内久男さんのお話を聞きました。会員・市民に関心の強いテーマで、金曜サロン始まって以来最高の26名が参加しました。

河内さんは、病院の現状、現在進めている改革の重点プラン、今後取り組むべき課題などについて話して下さいました。今、重点的に進めていることは①医師・看護師の確保・増員と働きやすい環境づくり②救急受入れ体制の整備③職員の意識改革など。様々な工夫の結果として、空きベッド率の減少、救急受入件数の



大幅増など、目に見える改革の成果をデータで示されました。また経営的にも収支が改善しているとのこと。今後取り組むべき課題としては、日曜日の入院、助産師外来と出産、土曜日開院などを挙げられました。

参加者からは、救急機能、市民の健康維持機能、災害時対応機能などの充実を望む、などの発言がありました。
(広報部会 湯口)

「シニアのための携帯電話講習会」大盛況！

～ 最近の携帯電話は便利な機能が満載！ やさしく・楽しく学ぶ「携帯電話講習会」 ～

私たちが生活をする上で、最も身近な道具のひとつである携帯電話。いまや携帯電話は生活必需品です。しかし、シニア世代は殆どがその便利な機能やサービスを使わずに「通話」しか使っていません。

本講習会は、携帯電話の便利な機能を使って体感していただく実習（通話・発着歴・アドレス帳・メール・携帯サイト・カメラなど）と注意が必要な携帯電話のマナーやトラブル、利用料金および緊急時・災害時に役立つ携帯電話の利用が学べる、シニア世代の初心者向け講習会です。実習に使用する「携帯電話」は、NPO法人イー・エルダーがソフトバンクモバイルと連携して始めた社会貢献プログラム事業として無償で提供をうけたシニア世代向けの機種です。

講習コースは、まったく初心者向け「入門コース」少し便利な使い方を習得したい方向け「初級コース」便利な機能をフルに使用したい方向け「中級コース」の3コース（いずれも3時間）です。定員は15名。最近、日野市外(近隣市)からの参加者も多くキャンセル待ちが出る状況です。12月以降も2月まで月1回開催しています。参加費は、テキスト代込みで千円。

参加者から毎回「アンケート」をいただき、多くの方々から“参加して良かった”と大変好評をいただいています。さらに、講習内容、進め方、教材の見直しなどを重ね改善していき、より満足できる講習会にしていきたいと思っています。

参加者が自分の携帯電話で学びたいと要望もありますが、「携帯電話」は電話会社や製造メーカー、また、古い世代の携帯電話と最近のものまで色々と機能が違うこと、ボタンや操作が異なり、集合学習では対応できないのが現状でこれからの課題です。

さて、みなさまもこの講習会に参加しませんか。

講習会主任講師・企画運営担当 吉野(多摩IT普及会)



★★★第6回 三市交流会 報告★★★

「日野・多摩・稲城

市民活動支援組織交流会」



セミナー参加 報告

《セミナー参加報告 その1》

「『志』で社会を動かすコミュニケーション」

(8/4 日本ファンドレイジング協会主催)

講師白土謙二氏(株電通執行役員)は、NPOなどが他者に支援を呼びかける広報活動の留意点を、事例を示しながら熱く語った。

【講演内容のポイント】

(1)他者に支援を呼びかけるには先ず相手のことを考える
とかく自分の立場からの発信に陥りがち。
支援を呼びかけるには、これをする事によって**相手にとっ
つ てどんな良いことがあるのか**を示す必要がある。

(2)相手の印象に残せる工夫が必要
相手はこちらが話したことをほとんど覚えてはくれない。
それは相手にとって必要のないことだから。
⇒ **相手にとって必要と感じさせるPRを**

(3)一般生活者がNPOに寄付をしない主な理由
①募金の呼びかけがなかった
②寄付がどのように使われているか分からない
③寄付する方法が分からない
④寄付を頼まれた団体が信頼できなかった

(4)効率的な提案の大切なルール
①支援要請者と要請の相手が共有できる精神(志)をさがそう!
②要請の相手(企業)にとってのリターンを強く訴えよう!

自分たちが得られる支援 < **相手に起こる良い変化**

③失敗こそ最高の教材だと考えよう!

8月23日(日)稲城市の地域振興プラザにて、三市からの計23名(多摩市4名、稲城市14名、日野市5名…地域協働課2名・連絡会3名)が参加して行われた。最初に、各中間支援組織から現状の活動報告が会のチラシ、ニュースレター等の資料と共に行なわれた。当連絡会からは、『連絡会ニュース14号、15号』と『連絡会パンフレット』が配られ、日野市とNPOとの双方向協働企画提案の「情報交換会」とその企画の卵を探した「NPOフォーラム」と「日野市の主要事業説明会」、「コミュニティカフェ・川の駅構想」、「アートフェスティバル」などの模擬店参加などが報告された。

多摩市からは、中間支援組織と行政・議会との関係、稲城市からは「金曜サロン」の充実(毎週開催)など課題・実績も報告された。

日野市地域協働課からは、各事業と予算、協働の相手(市のセクションとNPO)などが詳細に報告されている冊子『市民活動団体(NPO)と日野市との協働事業概要(平成20年度版)』も紹介された。

各市のNPOのヨコの繋がりが持てないか、日野市で進められている「コミュニティカフェ・川の駅構想」の他市との連携、イベントの共同開催などの情報交換・ネットワークづくりの提案があった。

交流会に引き続き、懇親会が開かれ、本音で問題を語り合った。KY(空気が読めない)に対して、GY(現場が読めない)と指摘したり、指定管理者制度の問題、NPOが下請け化していると議論が続いた。(梁瀬悦司)



《セミナー参加報告 その2》

「あなたもなれる! 編集者入門」

(7/11 東京ボランティア・市民活動センター主催)

講師富板敦氏(筑摩書房営業、編集担当後、現在フリー編集者)により、広報誌を制作するスタッフ対象に、実際編集されるまでの過程が語られた。複数の機関誌などを比較して研究するのも参考になるということだった。

印象に残ったことは、「今の時代をどう今の時代に伝えるか」、「読者にとっておもしろいのか」、「ルポライターの視点は待っていないで前に飛び出していく。」という点。

編集はややもすると制作側のひとりよがりになってしまう危険性を含んでいるが、これらの視点で改めて編集に取り組むと新しい発見があると思う。今後の編集に活かしていきたい。(広報部会 落)

○▼□参加団体活動紹介○▼□

地域にプレーパークを作る会 「どろんこの国」

私達は、子どもが育つ環境として「火・土・木・水という自然を使って遊ぶことができる」「遊びの中で挑戦したり、失敗したりすることができる」「いつ行ってもだれかいる」場所が、地域の中にあるべきだという趣旨のもと、毎月第4土・日にプレーパークを開催し、趣旨の理解を呼び掛けています。

プレーパーク「どろんこの国」は、「自分の責任で自由に遊ぶ場所」

です。そこには遊びのヒントをくれたり、一緒に遊んだりするプレーリーダーがいます。開催日にはスタッフが準備した自然



の素材の遊び道具があり、たき火の周りでは人が集まり、だれかが何かを焼いたり食べたりしています。遊

びにきた子どもたちは、自然の中で自分たちで遊びを考えて自由に思いっきり遊んでいます。



私達は、「汚れるから」「危ないから」と言って止めさせたりするのではなく、失敗したり・ちょっと怪我したり・汚れたりしながらも色々な人達と関わり合いを持ちながら子どもたちが育つ場であり、親もほっとひと息つける場作りを目指して、これからも活動を続けます。

代表 澤村あゆみ <http://doronko.karou.jp/index.htm>

恒例のねんも公園、除草作業をしました



9月27日(日)恒例のねんも公園除草作業を行いました。連絡会加盟全団体の参加が建前ですが、今回は13団体から18名が参加し、初秋の半日いい汗をかきました。



これは連絡会の活動資金獲得手段の一つです。月2回の清掃と年2回の除草作業を併せて年間19万円の収入となります。これは年会費収入の1.7倍に匹敵します。参加されたみなさんありがとうございました。

(世話人 湯口)

アート・フェスティバルに

初めて行って来ました！

私が参加した8月22日は、薄日がさす蒸し暑い日でした。仲田緑地に一歩足を踏み入れると、木々が生き茂り、出店のところに着くまでの道の所々に、オブジェが置いてあり、不思議な空間になっていました。またステージ上では、私達世代にはなつかしいグループサウンズやベンチャーズなどを演奏していました。

アートフェスティバルに来ていた人達にどのくらい市民活動支援センターの存在をアピールできたかわかりませんが、フランクフルトを焼いたり売ったりしながら、他団体の方々と顔見知りになり、交流することができてよかったと思いました。(こぶた座 大石)



《《 連絡会と加盟団体の活動をたくさんの方に知っていただくために・・・ 》》

☆「健康フェア・くらしのフェスタ」 連絡会の活動を展示紹介 … 11月1日(日) (生活・保健センター)

☆「加盟団体パネル展」 各団体の活動をパネルで紹介 … 8月31日～9月11日 (市役所1階市民ホール)

地域協働課から

平成21年度情報交換会を開催しました

市民活動団体と日野市との協働推進のため、新たな協働事業を模索するべく、今年度も情報交換会を開催しました。

市民活動団体の皆さんには、5月の勉強会や6月のNPOフォーラムを通して市の主要事業について理解を深めた後、9団体から11事業の提案がありました。提案事業については、8月19～21日、28日に、提案団体と関連する市の部署とで情報交換を行いました。

そして市からは、2部署より3事業の提案があり、9月28

日に提案部署と参加4団体との情報交換会を開催しました。また、会には参加できなくても、アイデア提供をされた団体もありました。

情報交換会は、まず事業提案した団体又は市の部署から提案内容を説明し、それについて質疑をしながら、協働できる部分はあるか、あるならどう進めていくか、などについて話し合います。

その場で結論が出せることはなかなか無いのですが、この会はまた、直接顔を合わせて話をする事で市民活動団体と市の各部署との間につながりをつくるということも、重要なポイントとしています。今後の協働関係を築いていくきっかけにさせていただければ、と思います。

◇◆事務局だより◆◇

※ パソコンリース期限の延長

現在使用しているノートパソコン(ランシステム含む)は10月末日でリース期間が終了しますが来年3月末日までの延長することとしました。皆さま、大いにご利用ください。

※ 印刷機・コピー機の使用

支援センターに設置されている印刷機・コピー機を便利に使用していただいておりますが、世話人会で、地域協働課から印刷機のインクとマスター、コピー機の使用料が、予算を大幅にオーバーしそうとの話がありました。必要なものを削るのではなく、無駄のない利用をお願いします。

※ 手指の消毒

ひの市民活動支援センターでもウイルス・細菌対策で玄関の洗面台のところに消毒液を置いています。

手軽に使用できるタイプになっていますので、是非御使用下さい。

※ 連絡会ロゴマーク審査

当連絡会が募集したロゴ作品の審査会が11月5日の臨時世話人会で行われました。

10月末の締め切りまでに32名から58点の応募があり、採用1点と補欠1点が選ばれました。

結果は12月6日の支援センター祭りで発表されます。



(事務局・山本、山崎)

広報部会からのお知らせ

アドレスはこちら → <http://hinokaturen.sakura.ne.jp/index.htm>

連絡会ホームページに支援センターで行われる行事の予定を知らせる機能が追加されました。

トップページの「スケジュール」というボタンをクリックすると月間カレンダーが表示され、支援センターで行われる連絡会や参加団体の会議・イベントの予定が確認できます。

編集後記

「連絡会ニュース1号」より編集長を務めている大先輩の代行として「16号」の作成を担当しました。今までのニュースを全て読み返し「中間支援組織」として連絡会が歩んできた7年間と、送られてくる原稿を編集しながら、市民の立場で活動を続けている皆さんの熱い思いを感じ、勇気をもらいました。

明日からも仲間と共に、目の前の出来ることから精一杯がんばろう！ (NPO法人子どもへのまなざし 中川)